

プログラムデザインコース

■ 「目の前の自然を活かしたプログラムづくり」

～ 体験を通して自然の原理原則を学び、自ら問いを立てる ～

研修実施者：NPO 法人大雪山自然学校 [<http://daietsu.or.jp>]

日 時： 2023年1月6日（金） 10：00～16：30
会 場： キトウシ森林公園・せんとぴゅあⅡ多目的室（北海道上川郡東川町北町1-1-2）
定 員： 30名
講 師： 荒井 一洋 氏〔NPO 法人大雪山自然学校 代表〕
長多 邦裕 氏〔北海道認定木育マイスター〕
松井 孝夫 氏〔尾瀬高校活性化委員会 専門委員〕

集 合 時 間： 9：50（受付9：30～9：50）
集 合 場 所： キトウシ森林公園・せんとぴゅあⅡ多目的室
ア ク セ ス： ①無料送迎バス（JR 旭川駅 ⇒ せんとぴゅあⅡ ※所要時間約30～40分）
※参加状況によって解散場所が変更になる場合があります。
朝： JR 旭川駅前 9:00 出発予定
夕： せんとぴゅあⅡ 16:45 出発予定 **旭川空港**へ
②マイカー利用

プログラム（予定）

	9:30～9:50 受付け 9:50 集合
10:00	開講・環境省挨拶
10:05	オリエンテーション・自己紹介
11:00	【講義1】体験学習の考え方
11:30	【講義2】学校とつながるためのワンポイントアドバイス
11:50	午前中のふりかえり
12:00	昼食
13:00	目の前の自然から自然の仕組みを考えるプログラム アウトドア技術を身に付ける体験プログラム
15:00	体験のふりかえり
16:00	まとめ
16:30	事務連絡、閉講 ※16:45送迎バス出発

- ※ 当日の天候等で、プログラムに変更が生じる場合があります。
- ※ 研修実施中はマスク着用のご協力をお願いします。
- ※ 「学校とつながるためのワンポイントアドバイス」の講師は、松井孝夫先生です。
- ※ 研修終了後、簡単な事後アンケートにご協力ください。

プログラムデザインコース

■ 事業者情報（会社概要、活動概要など）

大雪山自然学校は、2001年にNPO法人ねおすの東川支店として設立され、2015年にNPO法人大雪山自然学校となりました。

子どもから大人までの幅広い層を対象に、環境保全と人材育成に関する事業を行い、身近なところからの実践活動や人と自然の豊かな出会いをつくり、大雪山周辺の自然環境の保全・再生をするとともに、持続可能なまちづくりの実現に寄与することを目的として活動しています。

活動は大きく分けて4つあります。1つ目は、環境保全活動。大雪山国立公園旭岳周辺での環境保全活動や外来生物の防除を行っています。地域の森づくりでは、月に一度地域の人たちが集まって、倒木の処理など必要な手入れをしながら森を観察し、心地よい森を作っていくために活動しています。

2つ目は、子どもの自然体験活動。子どもを対象とした自然体験プログラムでは、「北海道の子どもが体験すべき自然100選」をコンセプトに、その季節にその場所でしか見ることができない自然の魅力を地元の子どもたちに紹介しています。そのほかにも長期休暇中のキャンプや木育・水育活動プログラムの実施、修学旅行や企業の研修旅行、親子プログラムのコーディネート、企業主導型保育事業などを行っています。

3つ目は、地域に根差した交流推進活動。大雪山をフィールドにしたエコツアーガイドや東川町内にあるキトウシ森林公園で、大人を対象とした健康プログラムを実施しています。エコツアーは、主に大雪山をフィールドにしていますが、道北や道東なども幅広く訪ね、ダイナミックな自然の魅力を参加者に伝えています。夏はトレッキング、冬はスノーシュー散策が中心で、年間を通じて活動しています。

そして4つ目は、人材育成活動。自然体験活動指導者の養成講座のほか、大学実習・研修生・ボランティア・インターシップの受け入れなどを行っています。コロナ禍ではありましたが、2021年度は、延べ250名のボランティアが、環境保全や子ども自然体験プログラム、森づくりなどに参加し、学びを深めています。

私たちは、自然を楽しみ、その恵みを分かち合うことと同時に、元来地域にある共生の知恵と技術を再構築し、それを実践することを使命とし、活動を続けています。



▲大雪山国立公園・旭岳での登山道整備の様子



▲地域の人が集まって行う森づくり活動



▲柱状節理の崖で巨大なつららを見学